REEDｰA
2023　10月号
リード・エー通信
master@reed-a.org
NO.482　編集発行
(社福)リード・エー事務局
03－3857－8839
https://www.reed-a.org

Reed-A Aki Matsuri '23

葦の会作業所 秋祭り

11月3日(祝)10：00～14：00

猛暑でもお値段すえおき！

ビオラなど花苗５個350円‼

・花のセール
・おもちつき　・おでん
・サーターアンダギー
（食品は持ち帰りのみ）
・多肉植物・押し花などの
　制作・体験コーナー
・お子さん向けのゲーム

花セールは 11 月 4 日(土)も行います。（10 時～14 時）
土曜日もご利用ください。

今回は２日間です。
日曜日はありません。

作業所日記

高島　明美

９月も終わりになるというのに暑い日が続きます。なんと真夏日が 90 日連続だそうです。それでも、猛暑日の時よりは朝晩が過ごしやすくなったような気もします。その分、蚊の活動が活発になってきたようで、よく刺されるようになりました。畑作業の時は、みんな虫よけスプレーをかけてから出発するのですが、作業所では特にしていません。そのせいか、私は顔に刺されることが多く、周りの皆さんに「すごいことになってるよ」と指摘されます。知らず知らずのうちに掻いてしまっているようで、気づいたときにはひどいことに…。先日、白井さんが足を刺されたようで真っ赤になっていました。作業も手に着かないようで掻きむしっているので、かゆみ止めを塗り「腫れてしまうから掻かないようにしよう！」と言ったのですが…私も掻きむしっていますね。(-_-;)

さて、お仕事の話になります。久しぶりに、ポスターを丸めて細長い筒状の袋に入れ、シールを貼るというお仕事がきました。細く巻いて、それをしっかりと押さえながら袋に入れて行かないといけません。さらに入れる方向も巻く方向も決まっているので確認しながらの作業が必要です。巻き方には人それぞれ特徴があり、メンバーさんのほとんどのかたは、テーブルの上で滑らすように巻いていました。細さの加減が分からなくなってしまう人は、棒を真ん中に入れて巻いてみると、いい感じに巻けていました。職員の巻き方は、空中で巻く人が多かったです。というか、テーブルの上で巻くのは、なかなか細くできなくて、私的には難しいんですけどね。なかでも古矢さんは、とっても細くきれいに巻けていました。「すごいね！」と褒めると、ちょっと目を細めて「はい」と答えてくれました。

そのポスター巻の作業と入れ替えで、大きなカレンダーを巻く作業がきました。やることは一緒なのですが、入れる袋に印字がされていて、その字にカレンダーの下の白い部分を合わせて袋に入れなくてはいけません。この加減が難しいのですが、話を理解して、しっかりと調整してくれていたのが増田さんと安部さんです。「もっとこっちかな。難しいな。」などと小さい声で言いながら、見本のカレンダーと照らし合わせてきれいにいれてくれていました。

珍しいお仕事もありました。新しい業者さんからで、冷蔵庫等に貼り付けるマグネットの小さい磁石を２か所に入れ込むお仕事です。磁石のＳ極とＮ極を同じ向きで入れなくてはいけないのですが、磁石には何の目印も付いていないので、適当に入れてしまうと反発してしまいます。それを理解して確認しながら入れなくてはいけません。そこで、見本を作って、一つ一つくっつけて確認しながら入れるという作業を、一手に引き受けてくれたのが白井さんです。その磁石を、トンカチでちょっと強めに叩いて埋め込むのですが、このトンカチが鉄なので、コツを得て打たないと磁石がくっついてきてやり直しになってしまうのです。ここで本領発揮してくれたのが、村田さんです。「久しぶりにトンカチ持ったな。」「このくらいで打つとうまくできるよ。」と、試行錯誤しながらも楽しそうに打っていました。二人で並んで考えながら作業している姿はとても微笑ましかったです。

もうそろそろ涼しくなりそうです。より一層頑張れそうですね！！

あしの家だより

【西新井ホーム】　石橋　光代

真夏の暑さがひと段落し秋の優しい日差しと風に変わってきましたね。歩いているとキンモクセイのいい香りが漂う時期となりました。

西新井ホームのメンバーさん達も今年のあの暑い夏をみんなで乗り切りました。変わりゆく季節の風物詩の話題も盛りだくさんで、８月３１日の夜は、奥さんがリビングへやってきて「今日はスーパーブルームーンだよ、今とても良く見えるよ」と知らせてくれ、２階の東の窓のカーテンを開けると、なんと素晴らしいまん丸のお月様を見ることが出来ました。奥さんありがとうございました。桑原さんは休日雨がひどくなりそうな日は、早目にホームに帰るなどして天候を感知しながらサイクリングを楽しみました。また台風を気にするこの季節、先日の台風 １３号の折は和也さん、

明久さん、古矢さんは前日から「明日台風来る？カルチャーある？」と心配され、翌朝出発の際の身支度では、段取り良くポンチョと豪雨用の合羽ズボンをせっせと着用し長傘、レインハット、長靴もそれぞれさっと取り出して出発されました。中原さんは最近購入した機能バッチリ＋おしゃれ感満載でカッコいい長靴を履くのが楽しみのようで、台風に負けないくらいの笑顔のドヤ顔で出発準備完了。服部さんは毎日乗車するバスを楽しみにしていて、台風なんて関係な～いと言わんばかりの満面の笑顔で「行ってきまーす」と挨拶され、バスに乗車し出発進行！　また雨といえば大久保さん。台風に限らず雨天時に使用した雨具を干す、翌朝畳んで仕舞うことをきっちりご自身で管理されているのには毎回感動しています。まさに【雨ニモマケズ風ニモマケズ…】です。たいていの人は悪天候の日は心がどんよりして外に出掛けたくない衝動にかられますが、どっこいホームのメンバーさん達は本当に元気で頼もしいですね。

これから少しずつ涼しくなり、過ごしやすくなってはきますが、夏の疲れも出る時期ですし食欲の秋とはいえ、メンバーさんの体調管理に気を付けてまいります。皆様におかれましても季節柄どうぞお身体ご自愛下さい。

【西伊興ホーム】　生駒　享子

夏の日差しもようやく和らいできたようですが、日中の暑さはまだまだ続くようです。急な雨など頭悩ますお天気です　楽しかった夏休みから通常時の生活への切り替えは、心配する事なくメンバーさんが「行って来まぁす」と手を振り出発する姿は、とても微笑ましく感じました。私も頑張らなきゃと力を頂いております。今月は祭日が２日もあり、安部さん、増田さん、田沢さんは仲良く一緒にお出かけ。前もって細かく計画を立て実行…バス～電車乗り換え…映画を観てきた！とパンフレットを見せてくれ、映画の話しに花が咲きました。お昼ごはんは？と聞くと満面の笑みで…寿司…ケーキ…とても幸せ(*^^)v　食の楽しみは、とても大切だと痛感しました。花田さん、青木さん、松本さんはそれぞれ帰省され、御家族と楽しいひと時を過ごされた様子です。まだまだ、日中の暑さは続くとの事…季節の変わり目は特に体調を崩しやすいので、食事、体調管理には気をつけていきたいと思います。

カルチャー教室　今後の予定

さをり	１０月　７日・２１日	陶　芸	１０月１４日・２８日
習　字	１０月１１日・２５日	水彩画	１０月１３日・２７日

奥君日記より　（2023 年　9 月）

５日　今日も元気体操あり、３階で木根さんと「本多・俺・和也・仁君」とで行う。いきいき水彩は「ムクゲ」を描く、花言葉を調べてみたら「デリケートな愛・尊敬」だった。

６日　朝に吉井さんと元気体操をやる。お口の体操のお姉さんが好きな仁君は、吉井さんのスマホを覗いていた。いきいき音楽は小林先生で「虫の声やうちのおじいさん」を歌った。俺の隣は藤牧君が居て上手に歌っていた。今日の当番は本多・俺・田沢さんで、カレーのシミが落ちずに時間が掛かった。今の内職はニベア・ファイル紙入れ等の封入の仕事が好きだ。俺としては目が、「ものもらい」になったり、転んで足を挫いたりで少し変な俺が居た。

11日　今日先ず嬉しかったのは朝より海斗君が居る事。畑では俺達、明日の北鹿浜公園花の植え込みのため、花や持って行く道具をトラック一杯に積んだ。

12 日　今日の畑は、北鹿浜公園に行った人が多いＣ班は明久・宮島・秀島さんが手伝ってくれた。藤牧君は午後になって俺と池田君と３人で、ポット上げをやる。ビオラから始まりアリッサムまでいった。藤牧君はキチンと教えれば上手に出来る。午後は田沢・俺・藤牧・池田・職員は中江さんと５人の畑作業だった。

13 日　池田君とポット上げをやる。それを見ていた職員田中さんに上手に植えるコツを教わった。結局「なるほどね！」で終わったけど教えてくれて嬉しかった。

14日　木曜の今日は、午前は畑で幸坂君とポット上げをやる。午後は、それこそ終わりまでポットに土入れをした、清水君と藤牧君と俺だ。

19日　今日の俺は、何と４分の遅刻でも遅刻は遅刻何か、だらしない俺が居た。今やって居る内職は何と来年のカレンダーをビニール袋に入れるのだが、何となく難しい。

20日　さて今日の「いきいき音楽」は、石川先生で虫の声等をタンバリンや鈴等で音を出しながら歌った。俺もそうだが、皆も楽しそうだった。

21 日　今日は自転車掃除があった。赤い屋根の菅沼サイクル７台、ここの自転車屋の７台は少し多いかも、今井・奥・白井・吉井さんでやる。青木先生のエアロビは後半戦だ、仁君は今日一生懸命にやって先生に褒められていたのが印象的だ。

22日　金曜の今日は久々に「陶芸」があった。そして、俺はまた新しい作品を作り始めた。今度は「誰が見ても分かるような物」を作っている、がまた何だか分からなくなってしまった。

27日　早いもので明日が木曜日で「お楽しみ給食の日」だ。ところで始めは嫌だったマスクを掛けた声も今となっては、普通に聞こえるのが不思議。それは、「いきいき音楽」でも誰よりも大きな声を出して歌っていた俺がいた。今日は「虫の声・村祭り・トンボのメガネ・お月様・ウサギのダンス」等だ。

＜花売り情報＞

１０月　５日（木）・１７日（火）・２５日（水）竹ノ塚センター

１０月１１日（水）ビッグ・エー花畑店　　１０月１２日（木）ベルクス南花畑店

１０月１５日（日）花作祭り（花畑共同作業所）・東京拘置所矯正展

１０月１４日（土）・１５日（日）都市農業公園　収穫祭

１０月１８日（水）ビッグ・エー南花畑店　　１０月１９日（木）ベルクス古千谷店

１０月２１日（土）暮らしフェスタ（Ｌソフィア）

畑日記

内堀　真樹子

９月下旬、少し涼しくなったように思えますが、まだまだ３０℃の日が続いて湿度も高くジメジメした暑さでした。畑はハウス内には寒冷紗を貼り、扇風機を使用して作業を行っています。真夏に種まきをしたパンジーやビオラなど冬の花苗もポットの中で育っています。害虫の被害を受けやすい植物には、あらかじめ殺虫効果のある薬をあげて防除をします。数が多い時もありますが、漏

れがないようにケース内の端から順序良く行っていきます。さらにハウス内の陽ざしが当たらない場所では、植え替え作業を行っています。小さな苗の時もあれば、大きく育った苗など、サイズは様々ですが地道にコツコツと植え替えています。葦の会は落ち葉を切り返して作った腐葉土と、赤土を混ぜて植替え用の土を作っています。苗を植える作業が多くなってくると土づくりも忙しくなり、先日、赤土が少なくなってきたため川口市まで購入に行き、メンバーと職員でトラックの荷台から赤土を降ろしました。職員と遼さん・大塚さん・青木さん・鄭さんが一緒に行いました。トラックの荷台から土を降ろすだけの作業ですが、一緒に作業しているメンバー同士スコップが当たらないように使いこなすのは意外と難しいのです。数を決めて数回赤土を降ろしたら次の人と変わるようにと島田職員が声を掛けながら行い、メンバーも自分の番の時は暑い中でも頑張って土を降ろしてくれました。また、その日の午後は完成間近の腐葉土を別の保管場所へ動かしました。一輪車に乗せて何度も往復する地道な作業ですが、みんなで協力をして一山移動を終わらせました。その作業が終わった１５時の休憩頃には、畑の庭にはトンボが沢山飛んでいて、暑さはまだ残っていますが、夏に比べると太陽の通り道も変わり、畑の日陰が多くなってきました。今年は酷暑だった為、キンモクセイの開花も遅れているようですが、畑の庭に植えているススキが風になびいている姿を見ると、秋が近づいてきている感じがしています。

今後ハウスは寒冷紗を外し、夏から秋仕様になるのでしょう。しばらくは暑い日もあれば涼しい日もあるので、衣服で調節して体調には気を付けましょう。

＜花売り情報＞

１０月　５日（木）・１７日（火）・２５日（水）竹ノ塚センター

１０月１１日（水）ビッグ・エー花畑店　　１０月１２日（木）ベルクス南花畑店

１０月１５日（日）花作祭り（花畑共同作業所）

東京拘置所矯正展

１０月１４日（土）・１５日（日）都市農業公園　収穫祭

１０月１８日（水）ビッグ・エー南花畑店　　１０月１９日（木）ベルクス古千谷店

１０月２１日（土）暮らしフェスタ（Ｌソフィア）

法人主催 ハイキングのお知らせ

しおばらけいこく
塩原渓谷

（栃木県那須塩原市塩原前山）

上流には塩原温泉がある箒（ほうき）川が作り出す渓谷沿いには、露天風呂が点在します。流れ落ちる数多くの滝と奇岩が立ち並ぶ渓谷の自然美は尾崎紅葉の「金色夜叉」にも紹介されています。今回は渓谷と林の中を交互に歩道が出入りする変化に富んだ「遊歩道」を皆でのんびり、ゆっくり紅葉を楽しみながら歩きましょう＼(^o^)／

日時 10月 29日（日）

予定
出発　舎人ライナー江北駅　７時５０分
　　　葦の会作業所　８時０５分
解散　１７時２０分頃

参加費：３，５００円

申し込み葦の会作業所　03-3857-8839（池田）まで
（準備の都合上、１０月２０日（金）までにお申し込みください）

お申込みいただいた方には、詳しい「しおり」をお渡しします。
皆さんのご参加をお待ちしています！！　(*^^)v

編集後記

やっと…やっと朝夕涼しさを感じるようになりました。皆本当によくこの暑さを元気に乗り越えたなぁ～。みんなの頑張りと同時に健康管理に気を配り、元気に送り出してくださったご家族のおかげだと感謝しています。　さて、今回は映画を２本紹介します。１本目は「福田村事件」。関東大震災から１００年。当時起きた流言飛語による朝鮮人への虐殺、多くの日本人もまた犠牲になった。その一つの事件が福田村事件。内容が内容だけに正直映像で見るのは気が進まなかったが、やはり見ておこうと思い映画館へ。人は人とつながることで、社会を形成し反映し、日々の生活を享受しているが、それら善良な人々が不安や恐怖にかられた時、「集団」になりたくなり、家族・村、ひいては国を守る！という大義名分下でより強固な集団となり、同調圧力も強い。その結末が自分の意志ではなく残虐な行為へと突き進んでしまう。これは、世界各地で起きた虐殺や戦争へとつながる。そして悲しいことに１００年前と現在、人の根底にあるものはほとんど変わっていないということ。行為の手法が変わってきただけ。一つのきっかけで突き進んでしまう怖さ。私たちは集団に属しつつも我々ではなく常に「私は」と考えることを忘れてはならないとつくづく思った。もう１本は「燃え上がる女性記者たち」インドで被差別カーストの女性たちが立ちあげた新聞社「カバル・ラハリヤ」を追ったドキュメンタリー。貧困や階層、ジェンダーという多重の差別や偏見にさらされ、夫や家族からの抵抗に遭いながらも、粘り強く取材して独自のニュースを伝え続け、それが大きなうねりとなる。ジャーナリズムの原点というべきもの。彼女たちの強さ、ひたむきさに元気をもらった。「声を上げても何も変わらない」という無力感にさいなまれそうになったら、彼女たちを思い出そう！「世界は変わる、変えられる」。（池田）